

幼珠連通信

どこに行っても治らなかった

病気が首で治せる 会長 井上 文克

(はじめに) 気分が落ち込みやすい、頭が重い、肩がこる、疲れがとれない、夜眠れない、朝起きると疲れている、イライラする、耳鳴りがする、めまいがする。軽い頭痛がいつもしている・・・
だけど、病院に行っても、「異常はありません」と言われるだけ！
実はこんな症状の原因は“首のこり”にある場合が多いのです。肩こりではなく、「首こり」です。このことは、まだあまり広く知ら

れていません。“（中略）私は、長年の臨床経験を経て、自律神経失調症や不定愁訴と呼ばれる原因不明の不快な”プチ不調”の多くを「首コリ」の治療によって改善できると、確信するに至りました。この考え方と治療の成果は、第 61 回日本自律神経学会などでも発表しています。（中略）この「首コリ」病を正しく理解して、そのケアの仕方を覚え、症状を改善してください。

どうぞ、首を大切にしてください。首は、頭部と精神活動を支え、体内を自動コントロールする重要な部分なのです。

2009年2月、東京脳神経センター理事長、医学博士 松井孝嘉「今月のタイトルは、この本の書名です。発行所・PHP研究所（TEL03-3239-6233）¥1400
この本の帯に、治癒率95%、医学の盲点为首にあることが分った。そして脳神経外科の世界的権威・東京大学名誉教授（脳神経外科）佐野圭司先生が「世界中のドクターが誰も気がつかなかった、画期的な発見です。ヨーロッパ・アメリカからも患者さんが治療に訪れています。」と推薦されています。

また、角川書店発行の文庫本「角川ONEテーマ21」は2009年1月初版発行で11月5日には第10版発行となっています。この本の題名は「慢性疲労は首で治せる！」です。発売元は（株）角川グループパブリッシングTEL03-3238-8521

【松井孝嘉（まつい、たかよし）先生の略歴】

医学博士、東京脳神経センター理事長、松井病院院長 香川県生まれ、1967年東京大学医学部卒業、同大学脳神経科教室に入局。テッドボールの研究で、巨人軍の協力により、野球の耳付ヘルメットを完成。73年にニューヨークのアルバートアインシュタイン医科大学モンテフィオーレ病院に脳の研究者として渡米し、翌年ワシントンのジョージタウン大学で世界初の全身用CTの開発に従事。これが画像診断の原点となり、CTの普及、日本の脳卒中死亡激減において中心的な役割を果たす。78年に帰国し、日本脳神経CT研究会を創設、同年、首の筋肉の異常が自律神経失調を起こすことを発見。その治療法の研究を現在まで続けている。著書 世界的なベストセラーもある。

2008年、第61回日本自律神経学会で世界で初めて、自律神経失調症を完治させる治療法について教育講演を行う。上記、以外に、ワニブックス「首を治せば病気が消える」、講談社「首をチェックして原因不明の頭痛、不調を治す」など、是非、是非、ご一読を！

珠 呟 しゅげん -69-**「ありがとう」の一言は生徒の心をほぐします。**

教室の近隣の方々には、常に、生徒の行き来への迷惑に
対してのご理解に感謝の意を示すことが大切であり、「お
世話になります」や「ありがとうございます」などの一言
が必要です。しかし、永年、教室を運営していると、生徒
の騒音など迷惑をかけていることも忘れて、あたり前にな
ってしまい、感謝の気持ちを忘れてしまっていることも往
々にしてあります。

家庭でも、親子間、夫婦間などで、いちいち「ありがと
う」と言わなくても、心の中で感謝していると言う人もいます。「以心伝心」と言うかも
しれませんが、感謝の気持ちは言葉でないと伝わらないものです。ただ、「ありがとう」
と真心で口に出せば、すぐに相手に伝わり、その一言で周囲が明るくなりましょう。

60年前、戦後のそろばん教室は授業の開始時に、指導者から生徒へ、「〇〇くん」と
呼ばれると、生徒は一斉に、「よろしく願いいたします～」と元気に挨拶し、指導者は
「それでは、～読み上げ算から～」の言葉で授業が始められました。さらに、終了する前
に、指導者から生徒へ「△△さん～」と呼ばれると、生徒は一斉に「ありがとうございました～」
と声を合わせて挨拶をして教室を後にした思い出を持ちます。

現在、私たちの教室においては、生徒からの感謝の言葉よりも、私たちが、積極的に、
「ありがとう」の一言をかけ、生徒の心に伝えることも大切です。
私たちは、生徒にそろばん学習を指導しているが、生徒への理解を得られるように指導し、
それによって、生徒がしっかりと理解し上達することが、私たち指導者にとって喜びであり、
生徒への「ありがとう」という言葉となりましょう。

私たちは珠算教育者として、時には、生徒たちに感謝する言葉をしつけることもありま
すが、常に、私たちは 生徒たちへの珠算を指導するのが仕事であり、その言葉を有効に
利用し、生徒の学習意欲を高めたいものです。

生徒からの「ありがとうございます」の言葉と私たちの「ありがとう」の言葉が合流でき
るそろばん教室は生徒と指導者の温かい心の交流となり、信頼関係が一段と高まり、教室
の雰囲気明るくなりましょう。今日も、「ありがとうございます」の言葉が行き合う授
業に心がけ、日々、明るいソロバン教室を運営したいものです。

私たち珠算教師間においても、お互いに「ありがとう」「どうしまして」の言葉の交流
は、教師同士の温かい心の交流となり、珠算事業の推進に一段と高まることでしょう。
ギリシャの格言に「最も はやく年をとるものは何か?」「それは感謝する心」とありま
す。「ありがとう」とねぎらいの言葉をかけるだけで、自分を取り巻く環境は明るく、活
気にあふれたものになるでしょう。「ありがとう」。この一言で、苦勞も吹き飛んでし
まうこともあります。何度言っても言い過ぎることはないものでしょう。

「暗算指導」 -11

③ 3桁のわり暗算(法3桁の計算)

- 指導の第一歩：** 実数を直ちに珠に変換して、商を立てて減じて計算する。
珠のイメージを確かめて、商(答え)を一度に書くように練習する。
法数に0がある問題には、珠イメージ「指つき」して桁を確かめて計算する。
- 指導の第二歩：** 最初は商を書き、実数の珠イメージから減じ、さらに残りの実数から商を求め、商×法数を減算して、商を求めるが、慣れれば、商は一度書きをする。さらに、繰り返し反復練習するとともに、間違えた問題には、正して、繰り返し練習し、間違えたパターンを認識する。
問題に慣れれば、計算の迅速性を上げるため、練習問題の1番の答えを書きながら2番の問題をするように努める。
- 指導の第三歩：** さらに、指を動かさずに珠のイメージのみで計算できるように練習する。

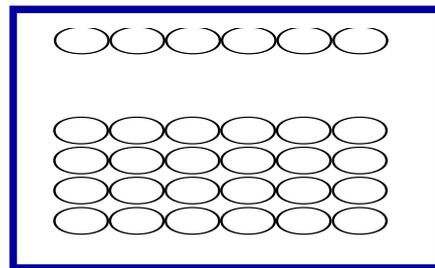
商除法(実÷法) 実数 法数
例題: $360, 448 \div 704 =$

① わられる数(360448)を珠でイメージする。
わられる数の頭数(3604)とわる数(704)で商(5)を見つけ出し、5を立て5×7=35、位を1つ下から5×0=が0をひく。

② 位を1つ下から5×4=20をひく。
 $3604 - 3520 = 84$

③ あまりの84とわられる数(4)で844をわる数(704)で商(1)を見つけ、1を商の立て1×7=が7、7をひき。続いて下の位から1×0=が0で、さらに、その下の位から1×4=が4で、4をひく。 $844 - 704 = 140$

④ あまり140とわられる末位数(8)で1408をわる数(704)で商(2)を見つけ、2を商の立て2×7=14、14をひき。続いて下の位から2×0=が0で、さらに、その下の位から2×4=が8で、8をひく。 $1408 - 1408 = 0$ ⑤ 答は512。



<p>① $3604 \div 704$</p> <p>5×7=が35をひく</p>	<p>② $3604 \div 704$</p> <p>5×0=が0(指つきで1つ右へ)</p>	<p>③ $3604 \div 704$</p> <p>5×4=が20をひく</p>
<p>④ $8448 \div 704$</p> <p>1×7=が7をひく</p>	<p>⑤ $8448 \div 704$</p> <p>1×0=が0(指つきで1つ右へ)</p>	<p>⑥ $8448 \div 704$</p> <p>1×4=が4をひく</p>
<p>⑦ $1408 \div 704$</p> <p>2×7=が14をひく</p>	<p>⑧ $1408 \div 704$</p> <p>2×0=が0(指つきで1つ右へ)</p>	<p>⑨ $1408 \div 704$</p> <p>2×4=が8をひく</p>

世界に広がるそろばん文化

2009年11月3日(火)

<http://abacus-world.cocolog-nifty.com/blog>

(日本珠算連盟 理事長 森友 建先生)



大商学園分銅杯争奪 at Toyonaka 第5回近畿小中学生珠算競技大会

11月3日、大商学園分銅杯争奪第五回近畿小中学生珠算競技大会が開催された。大会会長の大商学園高等学校濱地茂樹校長から開会のあいさつ

があり、続いて来賓を代表して日本珠算連盟 森友建理事長から祝辞を述べた。なお、今回は寝屋川市に事務所を構える樽床 伸二衆議院議員が来校され、最終回となる本競技会に敬意を表し激励のあいさつを行った。

本大会は、2005年に創立120周年記念事業としてスタートし、2009年の第五回大会をもって完結することになった。今回は6府県から中学生148名、小学生370名、合計518名が参加した。

各地からの来賓は26名を数え、12名の大会役員、100名を超える大会委員で、競技大会は予定された時間通りに進行し盛会裏に終了して有終の美を飾った。

大商学園高等学校の全面的な支援の下で、大商会(大商学園同窓会)が運営をリードし、まれに見る大きな規模の競技大会をスムーズに終了させたことは、今後のこの種の共催事業の成功モデルになるものであった。

明治20年創立の当学園は仁・義・礼・智・信の5つの徳目を生徒たちに体得させることを教育の基本理念にしているが、学校の内外に今までの教育成果がうかがい見れる。何をどのようにして指導し、教育していくかが極めて鮮明に提示されていることは、今後の同学園の学校経営上ますます有利に働くものと思われる。

祝辞の中では、長期にわたる電卓・コンピュータの普及により、合理性と効率性が重視され、機械に頼る傾向が強まってきた。その結果、物事を継続して行う力が減退し、学力低下に微妙な影響を与えることになった。しかし、今、珠算学習者が大幅に増加してきた。その理由は、そろばんを使って計算することの有用性と楽しさ、分かりやすさが理解され、基礎学力構築と学習意欲の獲得にも有効であることが明らかになってきたからである。今ひとつは、珠算式暗算能力に対する注目度の向上がある。

最近、珠算式暗算の素晴らしさと不思議さに内外の数学者が注目し始め、7月には珠算界と数学界が「珠算式暗算のメカニズム解明」をテーマに共同研究をスタートさせた。近い将来、その研究成果が世界の教育界に役立つことが期待される。今まさに、珠算の教育的効果と社会的貢献度の高さに世間の注目が集まってきている・・・と述べて、堂々とした戦いを願って締めくくった。

大商会の大西信二会長の夢と熱意がこのような大きな成果を生み出す結果につながった。夢と計画、実行がうまく揃えばこれほどのプロジェクトを成功裏に行えるということを見事に証明するものであった。

大商分銅杯争奪珠算競技大会

回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
開催日	17. 11. 3	18. 11. 3	19. 11. 3	20. 11. 3	21. 11. 3
大商分銅杯 大会名	仁	義	礼	智	信
参加生徒	298名	364名	396名	431名	518名
参加生徒 ・中学生	94名	89名	109名	113名	148名
小学生	204名	275名	287名	318名	307名
全種目満点者数	17名	11名	9名	21名	20名

成績記録 第5回「信」大会 (2009. 11. 3) 優勝者一覧表(敬称略)

中学生の部	団体 優勝	多気郡明和町立明和中学校	1765点	日本商工会議所賞
	団体準優勝	松阪市立中部中学校	1750点	
	個人 優勝	告野 良 (清風南海中学)	600点	日本珠算連盟賞
	個人準優勝	吉見 凌 (守口市立第一中学)	600点	
小学生の部	団体 優勝	向日市立向陽小学校	1780点	日本商工会議所賞
	団体準優勝	和歌山市立宮小学校	1765点	
	個人 優勝	金本 三夢 (生駒市立生駒台小学)	600点	日本珠算連盟賞
	個人準優勝	金本 大夢 (生駒市立生駒台小学)	600点	
フラッシュ 暗算	中学生優勝	小山 大貴 (清風中学校)		(社) 全国珠算教育連盟賞
	小学生優勝	鈴木ひとみ (西宮市立樋ノ口小学校)		同上
かけ算	中学生優勝	佐藤 穂里 (交野市立第三中学)		(社) 全国珠算学校連盟賞
	小学生優勝	一 長門 (大阪市立今宮小学校)		同上
わり算	中学生優勝	真鍋 雅成 (奈良市立富雄中学)		(社) 大阪珠算協会賞
	小学生優勝	金本 大夢 (生駒市立生駒台小学校)		同上
みとり算	中学生優勝	小山 大貴 (清風中学校)		(社) 兵庫県珠算連盟賞
	小学生優勝	郡 リ工 (和歌山市立宮小学校)		同上
読上算	中学生優勝	澤田 唯依 (松阪市立高田中学)		大阪府珠算協会賞
	小学生優勝	鈴木ひとみ (西宮市立樋ノ口小学校)		同上

かけ暗算	中学生優勝	告野 良 (清風南海中学校)	豊中商工会議所賞
	小学生優勝	安岡 友輝 (立命館小学校)	同上
わり暗算	中学生優勝	告野 良 (清風南海中学校)	大商学園PTA賞
	小学生優勝	安岡 友輝 (立命館小学校)	同上
みとり暗算	中学生優勝	小山 大貴 (清風中学校)	大商珠算部OB会賞
	小学生優勝	金本 三夢 (生駒市立生駒台小学校)	同上
読上暗算	中学生優勝	佐々木奈津美(大阪市立新北島中学校) 月刊サンライズ賞	
	小学生優勝	伊藤 緑薫 (西宮市立甲東小学校)	同上

全国幼児珠算教育連盟ニュース

平成21年11月15日 第215号

分銅杯大会「仁・義・礼・智・信」と完成!



事務局長 大西 信二

平成17年4月に母校・大商学園高校の同窓会(大商会)会長に就任。同窓会活動の一つとして2年後に迎える母校の創立120周年事業に備えて大商分銅杯を作成し、近畿各地の小中学校を対象とした珠算競技大会を開催することになりました。

大阪府下の私学で唯一、商業科を設置している母校に商業教育の原点である珠算競技大会を学校と同窓会(大商会)が主催することに意

義のある企画であり、学園関係者に賛同を得てのスタートをきりました。

平成17年11月の第1回大会は、6階の大集会室を会場として受付をしたところ、定員の298名をオーバーし、多くの参加申し込みをお断りしなければならない状況となり、翌年の第2回大会からは会場を体育館に移すことにしました。同校体育館は、関西の高校で最大と言われるようにバスケットボールのゲームを三面できる広さがあり、机・椅子を増やせば、参加者をお断りする心配はなくなりました。

近畿二府四県から平成17年度の第1回大会(仁)に298名、平成18年度の第2回大会(義)は364名、平成19年度の第3回大会(礼)は396名、平成20年度の第4回大会(智)は431名と、回を重ねる毎に参加者数も増え、今年の第5回大会(信)は500名を超える518名の参加者がありました。大会役員・委員137名の教職員・卒業生(大商会)・PTA役員を始め珠算教育の協賛者でもって運営、さらに多数のご来賓のご臨席を賜り、盛会に予定通り実施することができました。

これは当大会にご支援くださった珠算教育の先生方のご協賛の賜であり感謝しております。また、この大会を毎回、会場の準備をしていただいた学園の教職員と在校生のお陰でもあり授

業時間を割愛して、机・椅子の搬入をしてくれたことに感謝です。さらに、駅から会場までの案内を野球部・テニス部員や会場の放送にあたってくれた放送部員、会場でのプリント配布などの雑用を担当した珠算部員など後輩の協力に感謝一杯です。

本学園は明治20年に、商人にも教育の必要性を訴えた野口銈太郎（福沢諭吉の門弟）が設立し、儒教の五常の徳目「仁・義・礼・智・信」を教育理念とした徳育教育を重視した学校で、校章を商業の基本となる分銅を使い、5つの分銅「仁・義・礼・智・信」を配しています。第1回大会から4回大会までは分銅の「仁の大会」「義の大会」「礼の大会」「智の大会」として実施し、今年の第5回大会は「信の大会」として、分銅杯が完結の大会となりました。

大商会会長の立場として、学園の発展を願うには珠算大会だけでなく、この分銅杯を教育の基本である「読み・書き・そろばん」として活用しなければなりません。「そろばん」の珠算大会の成功に続いて、「読み」として漢字競技大会、また、「書き」の書写競技大会などの開催を学園へ提言し、支援しなければなりません。5年にわたり珠算大会にご支援・ご協力くださいました珠算教育の諸先生に心からお礼申し上げます。また、第2期目の「珠算大会」を実施の折にも、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。有り難うございました。

全国幼児珠算教育連盟ニュース

平成21年11月15日 第215号

ハンガリーのそろば

ん（上）

東大阪珠算協会

鈴木 巖

ハンガリーの教育

私が2度にわたりブダペストの小学校で、そろばん授業を見学しました状況を報告します。

1998年に訪問したケレスツューティの4年生と2005年のケーブ・キサーティ2年生両小学校の授業、さらに、ケレスチューリ学校での「全国そろばん大会」では、先生や子ども達は大変、静かに行われていました。私が感動したのは、競技会という雰囲気ではなく「小さな声で話すことが美德」ということを知りました。

静かな環境の中でこそ、思考力が育ち、創造力が養われるということです。その指導方法は、28年間の数学教師とインスペクターをされていたマーチャーシュネ先生（珠算教育協会会長）のご努力であり、日本には無い独特の珠算教育を確立されたのです。以下は、その概要と1年生のそろばん指導を紹介します。

*そろばん導入の姿

ハンガリーの珠算教育は、日本では実施されていない小学1年生から算数授業の中で10～15分程度の「そろばんの授業」を行なっている。正確には全国約3200校の内400校程度が1年～8年生まで「そろばんの学習」をしています。また毎年4月頃には、数学週間全国大会を利用して「全国そろばん大会」を実施している。今年、4月25日に過去最高の参加者355名を集め第14回大会が開催された。

*すばらしい教育効果

数学大国ハンガリーの教育の最大の目的は、子ども自身の思考能力と創造力を高め

ることにあると考えられている。ハンガリーのそろばんは、子どもたちに「珠を考える」ことで教具としてわかりやすい算数の授業を提供し「考える力」をつけています。

また、そろばんの使用は落ちこぼれ児童の引きこもりを防止し、優秀な子どもの才能を伸ばす作用があるとマーチャーシュネのお話でした。

日本の珠算教育との違い

その特長は、日本と違って速さ・量を追うのではなく「珠を考える」ことの楽しさ・面白さを追求しています。たとえば1年生で「数探し：9つの珠を使って表わせる、二桁で奇数の数は？（答49，89）」2年生では「3個の珠を使って表わせる二桁の数字は？」また「7個の珠を使った二桁の十の位と一の位の差が3となる数は？」というような問題を深く静かに考えさせている。このような問題が「全国そろばん大会」の競技種目に「かけ算」「わり算」「見取暗算」「見取算」の他に「考える問題」として、各学年の8年生までに入っています。まさに「珠を考える問題」は、日本の算数科においてもたいへん可能性のある学習具であると言えます。

今回は、2005年にマーチャーシュネ会長から頂いた小学1年生のカリキュラムから「算数の授業におけるそろばんの使い方」の一部分を掲載したいと思います。

2009. 11. 15 No.215

3P式書写指導法は 論理的だから効果有り！

日本書芸院参事 瀬戸 白鳳

何故に理論的が良いのか。そこには共通したルールがある。ルールがあれば、当然に誰でも同じことが容易に出来る。

人間関係においても、共通の言葉（認識）があれば、相手とより良い関係を築くことができることと似ている。

書写の場合も同じである。美しい文字を書くルールを指導すれば、当然、指導の理解も早いし能率的だと思う。人間関係でコミ

ュニケーションの場合、

言葉を発するタイミングが大切である。同様に、書写の場合も、会話のタイミングは筆運びのリズムに相当するのではないかと思う。

最近、母と幼児の書道教室で、次のような指導事例があった。「ゆき」を練習していた。下記の(A)はお手本。(B)は1ちゃんの書いた「ゆき」です。1ちゃんにも他の幼児にも理解できるように、指導したいのですが・・・

先に述べたように、理論的な指導が出来れば、それは共通の言葉（有効指導）となり、誰にでも容易に受け入れられるであろう。

「ゆ」について、最後の点画を右傾に書きなさいと指導しても、正しく書けるようになるには、随分と時間と手間が掛かる。3P式では、第二画を矢印のように長く書くように指導すれば、自然と正しい形が出来上がるでしょう。

「き」については、例（イ）最後の点画の位置が悪いのでは、また、例（ロ）右方に文字が倒れないように書きなさい、と言っても具体性がない。3P式では（イ）「き」矢印
→ のハネの方向を正しく指導すれば良い。

（ロ）「き」第二画目を右へ少し伸ばしてごらんと指導したら筆運びは正しくなり、自然に正しく書けてしまうであろう。

日々の幼児書写の指導の中で、その効果の程を随分と見てきた。そこには、的確な指導の共通のルールがあり、理論的であるがゆえに、誰でも美しい文字が書けるようになる秘密が隠されていると確信している。